



報 会 あ が た

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所：
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒330-0075
埼玉県さいたま市浦和区
針ヶ谷 4-7-15
松澤佳幸 内
発行人：久保田 昇子

この度東京同窓会の会長に就任しました十八回卒の久保田昇子です。初の女性会長という事で重い責任を感じます。

時代はコロナの世界的感染、ロシアのウクライナ侵攻、トルコ・シリアにまたがる大地震等次々と一国ではどうにも解決できない問題が起こっています。就任にあたり、こういう先行きの見通せない、明るさの見えない時代において、同窓会の役目とは何だろう、何に向かって進めばいいのだろうかと考えました。そしてこの問題は私だけで解決できることではありません。皆で考え相談しながらこれからの東京同窓会の姿を模索していかなければいけない時期に来ていると感じたのです。

幸い今年若い人が同窓会を応援し、力と知恵を貸してくださいようになりました。今まで「老人団体」のようになっていた東京同窓会に風が吹き出し、小さな灯がともり出したのです。この灯

火を大切に育てて若い人達も親しめる、まるで海に漂う船が灯台の灯りを求めるように、東京同窓会に集まってもらえるそんな会にしていけたらと願っています。さて、同窓会懇親会ですが、

会長就任の ご挨拶

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会長
久保田 昇子くぼたのりこ (高18回卒)



作り仲間と集まり、Zoomで会議をし、参加してくださる方々に楽しんでもらおうと色々工夫をしています。彼らが「大変だったけれどやって良かった」と思えるような同窓会にしようではありませんか。大勢の方々のご参加をお待ちしております。また、今年には縣陵の創立100周年の年です。松本で九月三十日(土)に「まつもと市民芸術館」にて執り行われます。ゲストに山

コロナの中、色々工夫して変則的ながら何とか一回も絶やさず開催してくださいと担当幹事の方々の熱意と努力に感謝致します。今年には四十五回生達が例年通りの開催をめざして六月十日(土)に行われる東京同窓会の懇親会のために着々と準備をしています。恐らく人生の中で一番忙しく大変な時期に、時間を

崎貴監督をお迎えします。東京では松本まで行かない方のために「日本教育会館」で松本と同時進行で記念式典をします。この記念すべき式典には是非ご参加ください。松本では記念行事として前夜祭に在校生のパフォーマンスや小松武平校長を偲ぶ美ヶ原記念登山等楽しみなイベントを用意しています。詳しい事は縣陵東

京同窓会のホームページをご覧ください。
百周年の記念事業の一つとして縣陵アカデミー館(仮称)の新築があります。既に大勢の方に御寄附をいただいておりますが、まだ目標の金額に達しておりません。縣陵アカデミー館(仮称)は縣陵生の集いの場所として在校生が勉強したり、地域の方達と学び合ったり、先輩達が講演をしたりと色々な用途で使えるよう計画しています。どうぞご協力の程、よろしくお願い致します。



総会・懇親会全員集合



縣陵

2022年度を 振り返って



第35代学校長 金井 繁昭 かない しげあき

はじめに

縣陵東京同窓会の皆様におかれましてはいつも母校の教育活動に對しましてご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

2022年度もコロナ禍の中ではありましたが、縣陵生は素晴らしい活躍を見せてくれました。クラブ活動においては、総体、選抜大会などにおいて、陸上、卓球、山岳、空手道、女子テニス、少林寺拳法、将棋が全国大会に出場した他、北信越大会にも多くのクラブが出場を果たしました。また、サッカー部の選手権県大会における14年ぶりの準決勝進出の活躍も光りました。

また、今年の縣陵祭は感染対策をしながらお客様を入れ、飲食物の販売も実現し、学校に活気がもどりました。3年生の役員たちは入学以来リアルな縣陵祭を経験できなかった上に、綿密な感染対策まで求められる中、

様々な困難に探究心をもって粘り強く取り組み、見事に成し遂げてくれました。

このような生徒たちの頑張りと、ひとえに縣陵愛に満ちた多くの皆様のご支援のお陰でございます。

個別海外・国内研修への挑戦

探究科の第1期生が2年次にマレーシア・シンガポール、オーストラリアへの海外研修を実施して以来、第2期生、第3期生は新型コロナウイルスの流行により海外研修を実施することができずに来ました。その後、新型コロナウイルスについての様々な知見も集まり、個人の海外渡航も開始される中、第4期生(2022年度の2学年)からは集団での海外研修を取りやめ、一人一人が自身の目的に合わせて個別に計画する海外研修へ切り替えることとしました。

これは県下でも他に例がない、初めての挑戦であります。海外渡航の経験のない生徒が多い中、自ら飛行機の手配を取り、ビザの申請をし、業者の方のサポートも受けながら計画を立てての海外研修です。なお、海外でなくとも、国内に目的を見出す者は国内研修も可、探究科の2年生に加え普通科2年生の希望者も参加可としました。普通科生は17名が参加しました。渡航先はアジア、ヨーロッパ、アメリカ、国内は北海道から九州と多岐にわたります。生徒たちは未知の世界に向け目を輝かせて旅立っていききました。感性の豊かな高校時代におけるこの経験は何ものにも代えがたく、自らがこれから生きていく人生に對して見える景色が大きく広がるものと思います。

更なる飛躍を目指して

縣陵の更なる飛躍に向けて次の一手を探るべく、2022年度には山形から広島まで全国各地の先進校13校を視察しました。その中で見えてきたことは、生徒に時間を返しつつ、「自律的な学習者」へ育てるための手立てが必要であるということです。学校は生徒に与えすぎないこと(生徒の時間、考える力を奪って

る)。生徒は与えてもらうのを待つのではなく、必要なものを見極め自ら取りに行く。うまくいかないこともあるが、試行錯誤を重ねチャレンジを続ける。それができてこそ本物の力が育ちます。簡単ではありませんが、その姿が実現できたならば縣陵はさらに飛躍できるものと確信しています。上記の個別海外・国内研修もその取り組みの一つです。また、生徒に時間を返すため、現在55分で実施している授業を2023年度からは50分授業にします。「自律的な学習者」育成に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。

皆様には、今後とも引き続き母校へのご支援を賜りますようお願いいたします。

終わりに

わずか1年間でしたが縣陵35代校長を務めさせていただきました。先生方や生徒に恵まれて、精いっぱい務めたつもりですが、何もできなかったと思います。縣陵第36代校長はここ3年間、縣陵の発展を実質的に支えてきた教頭の徳永佳代先生です。私同様引き続きご支援、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



健康ですか? 悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山 5-7-9-102(京王井の頭線 久我山駅前)

☎ 03(3332)5725(予約制)

院長 久保田昇子(高18回卒)



多くの仲間と 縣陵100周年を迎えたい!!

第56回東京同窓会実行委員長

小岩井 忠 (高45回卒)

およそ3年間、全世界がコロナ禍の生活を強いられてきました。誰もが経験したことがない3年間でしたが、ようやくここまで来ました。立場も考え方もそれぞれあると思いますが、ひとりでも多くの仲間と東京同窓会で縣陵100周年を迎えたい!ただただ強く熱く思うっています。第二次ベビーブ

り、これが今の東京同窓会との出会いだったと思います。20年振りに東京同窓会で出会う仲間達は、必ずしも高校時代からよく知っていた間柄ではありませんでしたが、出会い、話してみると、同期の仲間達は、社会人として地域や組織、家族を支え、リーダーシップをとり、活動分野も本当に幅広く驚かされました。その上、個性的で魅力にあふれ、一緒に過ごす時間が楽しいのです。こんなに魅力ある仲間が450人もいたのか。高校時代もつと多くの仲間と話し、繋がっておけば良かったなあ」と、今になって後悔をも感じますが、私達は、まだまだこれからたくさん時間を過ごすことが出来そうです。同期だけでなく、この東



追憶のすゝめ 昭和・平成・令和

母校愛のリレー実行委員長

上條 尚英 (高45回卒)

「あの頃は良かった」と言う人はオジさんだなあと思っていたのに、自分もいよいよそのセリフが出る歳になりました。けれど縣陵を卒業してから三十年が経った今はその言葉の意味が分かるような気がします。やれコンプライアンスだのハラメントだのと騒ぎ立て、些細なことでも個人への誹謗中傷がネッ

もちろん私も何のためらいもなく高校生活を謳歌しました。応援練習から始まった三年間は何もかもが新鮮かつ刺激的で、四五〇人の同期の仲間とその濃密な時間の流れを心の底から楽しく共有していたと思います。その仲間たちと縣陵創立百周年という節目の今年、「母校愛のリレー」の標を繋ぐ代となりました。コロナ禍にあつて制限のある学校生活を送ってきた現役生ですが、縣陵で得た体験、机を並べて学んだ友や部活で汗を流し切磋琢磨した仲間との想い出は、私たちが当時感じたものと同じ、かけがえのないものであると信じています。彼らが三十年後の「愛のリレー」

で、その素敵な記憶を呼び起こしながら標を受け渡すことが出来るように、我々同窓生は縦横の繋がりを大切にして、母校の存続と発展のために尽力しなくてはなりません。

東京同窓会の皆さまの中には、随分と長いあいだ松本の地から遠ざかっている方もいらっしゃるでしょう。母校の百周年を機会に松本へ是非足を運んで下さい。そして小奇麗に様変わりした街を散策しながらあがたの森公園へ向かい、澄んだ青空の向こうに映るアルプスの山々と母校の校舎を見つめ、「あの頃は良かったな」と呟いてほしいと思います。

縣陵三四会

巢山 英毅 (高11回卒)

〒399-8303 安曇野市穂高651-32
(〒178-0062 東京都練馬区大泉町6-11-6)
Tel 03(3925)0244 Fax 0263(82)5711

縣陵 燦々会

佐藤 悦雄 (昭和33年 高10回卒)

〒203-0043 東久留米市下里7-3-33
Tel. Fax. 042-475-3241

縣陵三二会

(昭和32年 高9回卒)

平沢 和久

〒214-0036
川崎市多摩区南生田6-26-1



の恩師、当時を語る。

学園生活の写真提供：平野 心平 (高45回卒/写真部)

弱音を吐きつつ…50年

3年G組担任(国語) 伊藤明(高21回卒)



「先生、十月二十九日、ホテル・モンターニユで45回生の卒業二十年の記念の会やるけど、出席してくれる？」栗山君から電話があったのは、七月二十五日の夜のことでした。この日は現在勤務する松商学園の三年生の夏補習の初日、現代文と古文の授業を消化して、正直なところグロッキー。(終了日 八月三日、長いナア……) そんな自分に栗山君から喝を入れられたようで、(よし、頑張るゾ)

団長栗山君の指揮で卒業以来校歌を歌いました。(私は何て幸福な人！かつての教え子の皆さんと母校の校歌、応援歌を歌えるなんて、「ことなしをえん」……この教師という仕事も今年度で……) 皆さんと感動の再会をした一か月後、令和五年度の勤務をどうするか、ヒアリングがありました。先生、来年度は週に11時間お願いします。(えっヤダ……今年度で「ことなしをえん」としたいのに……。それに今年度より1時間多いじゃないか。)

松商学園には六階建ての校舎があって、六階にと……まさに登山です。縣陵の校舎が見えます。(アッ。あの三階だ。三年生の教室があった！皆元氣かな。)

薄川の桜並木も、心なしか紅を帯びてきたようです。目の前の生徒たちに、高校時代の皆さんの記憶を重ねながら(不謹慎かも)弱音を吐きつつ……ソウダ、俺は縣陵生だった。弱音を吐くな！



3月1日

思い出

3年C組担任(数学)篠島良一(高28回卒)



私がはじめて縣陵に入ったのは今の2棟が建てられるとき、あがたの森の教室。次は急増期でプレハブ校舎4棟があったとき、生徒の声がか懐かしい。最後に関わったのはノートPCが学校に配布され、電子黒板が教室に入ったとき、そして退職。今では全員がiPadを持ち学習に活用している。知識だけではない深い学びにつながりやすい。創造が伝統となりそして創造と100年間繰り返されてきた。すべてが騰揚だ。十年を超えてお世話になった。糸を手繰るように様々な風景が蘇る。改めて縣陵に関わった先人、初代小松校長先生以来伝統を創ってきた方々に心から感謝したい気持ちになる。これからも創造することを躊躇せず歩んでほしい。



縣陵に

縣陵での思い出

3年F組担任(数学)橋爪正男(高30回卒)

赴任したのは昭和63年で、

設の建物に最初は戸惑ったが、その後慣れ長く勤めることになった。10年間で私の研究室は、プレハブ室、数研、視聴覚室、図書館、教務室と移り変わった。新築となった校舎の最上階にある視聴覚室の窓からは、年輪を重ねたヒマヤ杉の巨木を見ることができ、この静かな環境の中で多くの劇団関係者と会い、芸術鑑賞の行事「京劇や本格ミュージカルの準備ができた。図書館では、図書整理中に初代校長小松武平先生の追悼本を見つけたこと、文化祭講演の講師依頼の件で生徒達と著名人に出演交渉したことが印象深い。教務室では、新学科設置で時間がかかった英語科の立ち上げ、新たに導入される機械整備システムの準備など変化の波への対応で忙しかったが余話もある。ある時授業の中で占いの話をした後、教務室に戻って来ると、

私も私も占って欲しいと生徒達が列を作っており、

2023年は縣陵創立100周年、新たな出発点として今後の皆様のご発展を願っています。



バスケットボール部の顧問になって

3年I組担任(理科)下澤秀夫(高30回卒)



2019年の会報で、私の教員としてのキャリアは『縣陵』で培われたと書きましたが、部活動の顧問もその一つです。赴任直後の職員会で、配布された校務分掌表を見て唖然と書いてあったからです。副顧問といっても、全く

子バスケット部の副顧問と書いてあったからです。副顧問といっても、全くの素人の自分に務まるか不安になりましたが、正顧問の野竹先生、また当時の二、三年生に多岐にわたり教えていただき、何とか顧問としての体裁を整えることができました。放課後の練習や土日の練習試合、インターハイ等の公式戦など、ほぼ務めることができました。どっぷり浸かった八年間でした。その甲斐があったためか、その後転勤した学校では女子バスケット部の正顧問となり、周りの協力もあって県大会に出場することができました。まぐれだったとは思いますが！



高45回生

平成5年3月卒業

県ヶ丘45回生へ

3年E組担任(体育) 松田 正巳(高22回卒)

「光陰矢の如し」私は一昨年古希を迎え、

時の流れの速さを痛感しています。県ヶ丘高校45回生の皆さんも卒業30年を迎え同じ思いを感じるのではないのでしょうか。戦後の第2次ベビーブーム世代の皆さんは、進学・就職に厳しい時代に育ちました。学年は10クラスと生徒数も多く、個性豊かでエネルギー溢れる諸君が多かったように思います。皆さんは校則も少ない自由な良き時代の縣陵で学び、部活に明け暮れ、楽しい高校生活を送ったことと思います。初代校長小松武平先生の3訓を旨とし、自主独立の精神で勉学だけでなく、生徒会活動や部活を通して様々な体験をし、多くのことを学んだと思います。

今、皆さんは40代後半を迎え、年齢的にも社会を支える中堅的存在として、それぞれの場でご活躍のことでしょう。皆さんの縣陵で得た力強い行動力で、どうぞ、日本を覆う混沌とした社会の暗雲を払って欲しいと願います。皆さんと過ごせた3年間は、今思い返しても懐かしく、楽しい思い出です。大切にしたいと思います。



近況

3年B組担任(英語) 清水 幾

縣陵創立 100周年おめでとうございます。

卒業30年ですか、早いものですね。先生方は飲み会をいつも校歌と覇権の剣の大合唱でしめていました。先生方の縣陵と生徒たちへの愛情を感じつつ9年間、青春の最後を過ごさせていたいたことはとても幸せに思います。

私は7年前に上田東高校を最後に退職しました。その後数年間はツーリングやらドライブやら楽しんで、クローラーの上達を目指してプールに通ったりと、のうのうと暮らしておりましたが、ここ4年ほど体



に変調をきたし(不調ではない)、またコロナ禍もあっておとなしくしていたところ、昨年初夏に突然母猫が子供を3匹連れて現れ、そのうち2匹をうちの庭に置き去りにしたため、保護しました。いまは、この猫たちよりも長生きをしなければならなくなり日々健康に気を付けて暮らしております。



不夜城

3年D組担任(社会) 有賀 正典

私が縣陵に赴任した

のは一九八九(平成元)年、年齢は二十九歳でした。教員になって二回目の担任を持ちましたが、生徒と年齢が近いこともあり、生徒に強く色々言えず、全く統制がとれませんでした。(統制をとろうと思ってもいませんでしたが)私の出張の時に代わりにSHRにいつてもらった先生に、黒板に「うるさい」と書いてきた、と言われた事もありました。放課後は部活に顔を出し、その後、教材研究と教材プリント作成、成績処理のマクロを組む(パソコンの黎明期でした)等で、毎日九時過ぎまで学校に残っており、社会科学研究室は不夜城だと言われました。当時は、土曜日も半日授業があり、日曜日は女子バスケット部の練習や練習試合があり、まさに学校漬けの生活でした。しかし、縣陵で貯えた教材、部活指導の経験は後の勤務での大きな糧となりました。



思い出すこと

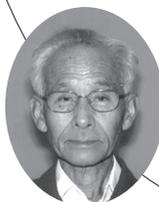
3年J組担任(理科) 平林 佳樹(高5回卒)

私は、縣陵に昭和25年春に入学しました。

た。入学式が終わって、教室に戻ると黒板に「立てばこも座ればむしる歩く姿は大かます」と白墨で大書してありました。そこに先生が入ってこられて笑いながら眺め、おもむろに消しました。その先生は社会科を教える松田先生、愛称はかます。一年間担任としてお世話になりました。当時は、ほとんどの先生に愛称がつけられ、生徒は親しみを込めて愛称で呼びました。

その後私は高校教師となり、最後は縣陵で講師を含めて八年間勤務。担任を持った後、進路指導係を担当。生徒の進路希望は、ほとんどが大学進学で、国公立大学へは浪人を含めて百人程度が合格しました。

現在私は、地域活動や花や野菜作りで余生を楽しんでいます。



松本県ヶ丘高校創立100周年
縣陵百周年
 Kenryo 100th Anniversary



第56回 松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
総会・懇親会のご案内

56th Theme

縣陵 **100.0** (Century)

日時 **2023年6月10日(土)**

<総会> 12:30~ <懇親会> 13:15~16:00

魚と日本酒の旨い店
味彩酒房
 じん
仁
 代表 **岸野 裕二**
 (高38回卒)
 〒102-0083
 東京都千代田区麹町4-3-1
 Tel. 03-3234-2566

株式会社 上條石材工業
 代表取締役 **上條 尚英** (高45回卒)
 本社・工場 〒390-0851 長野県松本市島内 1666
 TEL 0263-47-2398
 東京営業所 〒164-0012 東京都中野区本町 4-48-17
 新中野駅前プラザ 2F
 TEL 03-5328-1265

<http://www.kamiseki.com/>

本格手打ちそば
信州家 特製の
仕出し弁当
 店主 **上條桂史** (高40回卒)
 電話番号:
090-4460-5776 (店主直通)

 信州家 そば 検索 *1万円以上配達可

KAMIMURA ARCHITECTS + ASSOCIATES
 一級建築士事務所 **株式会社カミムラ建築研究室**
 代表取締役 **上村 英成** (高45回)
 執行役員東京設計室室長 **平林 昌倫** (高44回)
 本 社 390-0814 松本市本庄 2-8-1 0263-32-4268
 東京事務所 101-0048 千代田区神田司町 2-9-1 5F 03-5577-4246



会場 | アルカディア市ヶ谷 私学会館

3階 富士の間 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921
JR中央線/地下鉄 市ヶ谷駅から徒歩2分

申込 | 5/31(水)まで 5/22(月)まで
締切 | ホームページからの申し込み はがきからの申し込み

参加費 | 一般の方 : 11,000円
若手世代 : 3,500円 2013年3月以降の卒業の方(高65回~75回卒)
準若手世代 : 8,000円 2003~2012年3月に卒業の方(高55回~64回卒)

申込方法 | 東京同窓会公式ホームページ
「**縣陵東京ネット**」からお申し込みください。
<https://kenryo-tokyo.net>



同梱はがきからの申し込みも可能です。はがきから申し込まれる際は、同梱の個人情報保護シールではがき裏面を保護してください。

お申し込み後やむを得ずご欠席の場合は6/4(日)までにご連絡をお願い致します。6/5(月)以降の参加キャンセルは、キャンセル料として会費全額をいただきます。



Social Energy

ソーシャルエネルギー株式会社
www.social-energy.jp

代表取締役社長 片瀬 開 (高45回卒) メール: info@social-energy.jp



もつ鍋だけは、間違い無く美味しい。
縣陵生の皆様のご来店をお待ちしております!

代表 河野 哲男 (高38回卒)

東京都新宿区四谷三栄町14-1 三栄星野ビル1F
03-5379-0282 <https://kintaro428.owst.jp/>



TAKE IN STUDIO (テイク イン スタジオ)

昼はリモートワークスペース、夜は語らいBar

かつては江戸の台所 日本橋・神田・小伝馬町からアクセス便利

毎日が縣陵の日、新しい縣陵のスタンダード

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-11-10 Tel: 03-5843-8959

濱田 和弘(高43回卒)





紡ぎつづけ、見えた風景

「VUCA時代」*の2022年を振り返って



まつざわ しんすけ
松沢 真介

たかやま
高山(旧姓 袖山)朋美(高44回卒)

—— 昨年の東京同窓会総会・懇親会は3年ぶりの対面開催、そしてオンラインでのハイブリッド開催でしたが振り返ってみていかがですか。

松沢 日に日にコロナへの意識も薄れゆく中、あれからまだ1年経ちませんが、コロナの先行きが不透明な中で実行委員を務めた昨年の方がなんだか遠い日の出来事のように思えます。

袖山 実際には本当に開催できるのだらうかという不安と、状況に応じて想定される様々な場面を同時並行で考えていた苦悩の時期でしたね。

松沢 懇親会はリモート形式がよいか、2年越しの現地参集か、開催自体見送るべきか……最終的に、一堂に会して親睦の場を目指そうと同期メンバー内で決まったものの、三密回避の安全策も踏まえ、様々なケースを想定しつつ準備を進めなければならず、暗中模索のスタートでした。それまで懇親会への参加はおろか東京同窓会の存在すら知らなかった私ですが、その後過去の盛況な会の様子

を知るにつれ、このコロナ下でどうなることやらと10円ハゲが増える日々でした(というのには嘘です)。

袖山 今年こそはという周囲の期待感も伝わってくる中で、「対面で会うという価値」と「文字(言葉)が体現してくれる価値」を融合する、つまりテーマでもあった『紡ぐ』前へ』という意味合いを私たち実行委員と、応援、協力してくださる同窓生の皆さまと共に、『紡いだ』懇親会だったと感じます。そして会報でも、幅広い世代からの寄稿とオンライン対談によつて、『紡ぐ』を表現。スペシャルな先輩方による対談は、あの時期、何ができる?何を伝えられる?と問い続けていた私たちに「今のコロナ禍でも表現できるものは、文字の中から読みとれる、会えないけれど同窓生の繋がりが、そして先輩方が残してきた軌跡、現在の活動や活躍に繋がる縣陵の精神ではないだろうか」と教えていただいた気がします。実行委員の任務は大変でしたが、いろいろ議論を交わして形づくって

くプロセスに醍醐味のようなものがあり、そこから生み出されるアイデアや編集といった作業を通して、44回生なりに少し新しいことに挑戦できたのではないのでしょうか。

松沢 同期や諸先輩・後輩らとの協働の結果、無事懇親会を終えたときはほっとしました。上は高5回卒の大先輩から下は73回卒の若者まで約90名、非常に幅広い年代が集いました。時節から特段の余興は無しとしましたが、校歌に始まり、覇権の剣、最後は信濃の国と、皆が一つになったその歌声の中に身を置き、母校と故郷への感謝の念を新たに、有意義な時間でした。また会報についても、彩り豊かで縣陵イズム溢れる内容となりよかったです。

袖山 運営面ではまだ大勢が集まることへの難しさはありましたが、皆さんが同じ思いで楽しみに待っていてくださったあの日、あの場所、久しぶりの再会にお互いに心を通わせたあの風景を思い出すと、感謝の気持ちが蘇ります。

(文中では旧姓まま)

*VUCAとは、Volatility(変動性・不安定さ)、Uncertainty(不確実性・不確定さ)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性・不明確さ)の略語

Post in Network 学校法人をはじめ各種法人のさまざまな事務処理、アウトソーシングを一括受託

株式会社 ポストインネットワーク

ホームページ <http://www.postin-net.com/>

発送代行、データ管理は、Pマーク企業の当社におまかせ下さい。

相談役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社：〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
 企画営業部：Tel.0422-23-7620 Fax.0422-23-7630
 物流センター：〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-19-6-2F
 Tel.0422-23-7616 Fax.0422-23-7626
 Tel.04-2951-7507 Fax.04-2951-7517

不動産・相続の身近な相談所

三澤 政興(高18回卒)

ファイナンシャルプランナー(CFP)
 公認不動産コンサルティングマスター
 上級相続アドバイザー

株式会社 日本ビルワーク
 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-35
 小林ビル1F
 Tel:03(3237)1370 携帯090-2525-5037
 Email : m-misawa@nbw.co.jp

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業

ひとに優しい未来を創る

ASUPIA
 AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA

株式会社 **アスピア**

代表取締役 **百瀬 方康**
 (高22回卒)

〒390-8639 長野県松本市宮淵1-3-30 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618 E-mail:info@asupia.co.jp

医療法人社団 **梓会**

- 一般歯科
- 口腔外科
- 審美歯科

古畑歯科医院
 いびき・睡眠呼吸障害研究所

日本歯科大学付属病院 内科 臨床教授
 東京医科歯科大学附属病院 元非常勤講師
 日本睡眠学会歯科専門医・日本睡眠歯科学会認定医、指導医

古畑 升 (高22回卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂7-10-8 江戸清ビル2F
 TEL・FAX 03-3587-1823



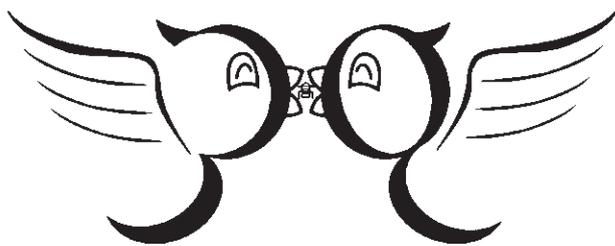
街に未来にアートで繋ぐ

私たちは、モニュメント、パブリックアート、建築に関わる内外装物の設計・デザイン・制作・設置・メンテナンス及びギャラリー「いりや画廊」を運営する総合美術系制作会社です。



Be Factory 〒123-0864 東京都足立区鹿浜 1-13-19 | 03-3857-8155 | info@befactory.jp | 代表取締役 中村 茂幸(高27回卒)

Hello! We are Thank You KENRYO-Kai!



高校39回卒業生の会 サンキュー縣陵会

あがた42会

100

101 102

縣陵 42 回卒業生同期会
agata.42kai@gmail.com

あがた42会

縣陵 44 (よんよん) 会 紡ぐ ~前へ そして 100.0 ~

松本県ヶ丘高校 44 回卒業生一同

TSUMUGU
O
K
Y
O
A
T
S
U
M
O
T
O



人にやさしいまちづくり

株式会社グラフィック

代表取締役 浅井俊貴 (高 38 回)
取締役 百瀬 晃 (高 42 回)
東京本社 金森孝至 (高 42 回)
松本事業所 丸山善大 (高 62 回)

本 社 〒390-0831 長野県松本市井川城 3-3-8-5 TEL 0263-25-7668
東京本社 〒130-0026 東京都墨田区両国 1-3-8 西川ビル 3F TEL 03-5669-0292
千葉営業所 〒263-0023 千葉県千葉市稲毛区緑町 1-26-8-201 TEL 043-216-3272
市川営業所 〒190-0022 千葉縣市川市二俣 1-2-1-205 TEL 047-311-4898
<https://www.gpc.co.jp/>

GRAPHIC

☆☆随時、人材募集中! 未経験でもご心配なく! お問い合わせ! ☆☆



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 令和4年度 決算報告

【一般会計の部】

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 単位:円

収入の部		支出の部	
適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	270,717	総会関係支出	974,484
本部助成金	100,000	会報発行費	634,246
総会関係収入	1,133,001	幹事会費	0
会費等	909,001	総務委員会	62,110
寄付金	224,000	総会指導委員会	22,000
広告費	732,000	渉外委員会	23,500
会報あがた	660,000	広報委員会	0
縣陵コネクション	72,000	HP運営費	92,252
会費特別勘定繰入	846,000	6年委員会	0
会費繰入(年会費)	246,000	縣陵レディース	150,000
会費繰入(終身会費)	600,000	財政委員会	19,750
幹事会費	0	会計委員会	98,999
特別会計戻し(-)	-600,000	事務局	5,784
仮払金戻り	100,000	諸雑費	7,390
		仮払金	0
預金利息	9	次期繰越金	491,212
総合計	2,581,727	総合計	2,581,727

令和4年度特別会計の部

1. 会費特別勘定

前年度末会費口預金残高	7,257,296
本年度終身会費受入額	140,000
本年度年会費受入額	159,392
内額面	184,000
内振込手数料(-)	-24,608
寄付金受入額	224,000
広告費受入額	660,000
総会・懇親会費受入額	40,000
前受金戻し(-)	-466,000
前受金	361,000
普通預金利息	50
縣陵コネクション入金	72,000
一般会計勘定繰入(-)	-1,578,000
一般会計勘定より戻り	600,000
実行委員会口座繰入(-)	-244,000
会費口預金残高	7,225,738
終身会費口預金残高	5,471,072
年会費口預金残高	1,754,666

2. 特別基金勘定

りそな銀行定期預金(自由金利口)	1,634,130
内 当期預金利息	28

会計報告
令和4年度一般会計の部並びに特別会計の部を上記の通りご報告いたします。

令和5年4月11日
会計委員長 清水 好文

会計監査報告書
会計幹事より提出を受けた帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であることを認めます。

令和5年4月11日
監事 新津 毅 小林 哲彦

会費振込みのお願い

会則第15条に基づき令和4年度の年会費のお支払いをお願いしております。同封しました郵便払込取扱票をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。

年会費	終身会費
2,000円	20,000円 (財政委員会)

令和4年度 事業報告

令和4年度の総会・懇親会は、2022年6月11日(土)にアルカディア市ヶ谷にて『紡ぐ～前へ』をテーマに開催しました。実行委員会の皆さんが、前年のテーマ「結(ゆい)、時をつなぐ、人をつなぐ、縣陵愛～Connecting the Dots」の想いを引き継ぎ(紡ぎ)、どこか分断されてしまったような現在の社会、なかなか会えない友や故郷のこと、対面でのコミュニケーションが難しくなっている今、それでも前へ進んでいくこれからの新しい社会、新しい結びつき、多様性、共有といったものを大切に、母校という繋がりを、あらためて交流の新しい形、同窓生同士の繋がりと、紡いでいきたいという想いを込めました。

コロナ禍の中、三密回避を前提として、オンラインとの併用で開催しました。会場には90名の方に参加して頂きお互いの交流を深めました。また、今年度はHP管理委員会を新たに立上げ、HPコンテンツの見直しなども進め、若い世代の皆さんに積極的に参画してもらえる仕組み作りへの取組も始めました。

来年度は、代表幹事会を中心にして『東京同窓会の存在意義』や『若い世代の方々が参加しやすい同窓会にするための課題』などについて議論し、会則・運営細則の見直しにも取組んで参ります。一人でも多くの同窓生にご参加頂き、人脈や交流を深めて行きたいと思っております。 総務委員長・幹事長補佐 ^{ももせ たけあき} 百瀬 健昭 (高27回卒)

日ごろ、東京同窓会の運営にご協力いただきありがとうございます。

平素より、東京同窓会の運営にご協力いただきありがとうございます。

東京同窓会は、松本本部同窓会費とは別に、関東圏在住約2,500名の同窓生からの年会費、終身会費により運営されております。今日迄、683名の皆様から終身会費の納付協力をいただき、また、昨年はコロナ第6波の収束を見据え、東京同窓会の総会・懇親会を3年ぶりに小規模リアルにて開催し、92名の皆様から年会費の納付協力をいただきました。改めて、東京同窓会の運営に浄財を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。皆様方のおかげで、年々総会・懇親会の参加人数増加や各分科会のイベン

ト参加拡大で益々盛り上がり、縣陵生の絆を深め広めることができました。毎年納付いただきました年会費、終身会費は各委員会の事業計画を審議・精査し、有効に活用させていただいております。また、今年はコロナ制限解除も追い風に本来の総会・懇親会の実施や、松本県ヶ丘高等学校創立100周年を契機に将来に向けた財政基盤の充実を図る努力をして参ります。つきましては、東京同窓会運営にご理解いただき、まだ、年会費、終身会費の納付手続きをなされていない会員の皆様に、同封の郵便払込取扱票をご利用いただきお振込のほどよろしくお願ひ申し上げます。 財政委員長 ^{おまかわ ひんじ} 脇川 研二 (高28回卒)



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 令和5年度 予算案

令和5年度 事業計画

【一般会計の部】

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日 単位：円

適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	491,212	総会関係支出	2,339,203
本部助成金	100,000	会報発行費	546,480
総会関係収入	2,438,000	幹事会費	200,000
寄付金	50,000	総務委員会	415,000
広告収入	552,000	総会指導委員会	50,000
会費収入(年)	184,000	渉外委員会	112,000
会費繰入(終身)	600,000	広報委員会	15,000
特別基金繰入 (100周年記念)	1,500,000	HP運営費	142,736
		6年委員会	81,850
幹事会費	100,000	縣陵レディース	150,000
仮払金戻り	0	財政委員会	25,000
		会計委員会	20,000
		事務局	37,000
		諸雑費	8,000
		100周年記念事業費	1,500,000
		仮払金	200,000
銀行利息	50	次年度繰越金	172,993
総合計	6,015,262	総合計	6,015,262

今年は母校が創立100周年を迎えます。ロシアによるウクライナ侵略で国際社会の分断は進んでいますが、我々はお互いの価値観の多様性を認めたくて、一致団結して『縣陵100周年』を祝いたいと思います。6月10(日) (土)にアルカディア市ヶ谷で第56回東京同窓会の総会・懇親会を実施します。テーマは「県陵 100.0 (century)」、100周年である2023年、県陵東京同窓会も再定義し更なる発展を遂げる年となって欲しいとの期待を込めました。また、9月30日(土)に神保町の喜山クラブにて記念式典・祝賀会を開きます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

コロナ禍で、仕事のスタイルも大きく変化してきましたが、このような時代だからこそ、在校生・同窓生が結束して繋がりを深めていきたいと思っています。引き続き、皆様の東京同窓会へのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。母校および同窓会の発展を、皆様のご健康とご多幸を、そして世界平和を心より祈念しております。
総務委員長・幹事長補佐 ももせ たけあき 百瀬 健昭 (高27回卒)

この秋いよいよ、縣陵百周年記念事業開催へ

縣陵アカデミー館(仮称)の新築

築50年を経た同窓会館を解体し、現学習会館「陵友館」を合体する新築構想で、「生徒の学びの場」としての充実を図るとともに、同窓会館としての機能を果たすものです。

学校教育環境整備事業

同窓会の支援によって、これまでもWi-Fi設置など教育環境の整備を進めてきましたが、今後もICT(情報通信技術)環境の整備ニーズ、生徒の諸活動支援、交換留学事業などタイムリーに対応できる仕組みを構築します。

地域への謝恩

アカデミー館新築に合わせて地下水を掘削し、「あがたの泉」(仮称)として活用し、災害時には広く地域に水を供給します。

記念誌、写真集、人物誌の発刊

平成15年に発刊した80年史に、20年分を補足し、新たに縣陵百周年記念の写真集・人物誌を発行します。

記念式典開催

2023年(令和5年)9月30日(土) 大安 於まつもと市民芸術館、母校体育館



第13回一虹展

2023年(令和5年)9月13日(水)~24日(日)
松本市美術館 市民ギャラリーA・Bと多目的ホール
出品 一虹会・東虹会会員、縣陵OB

その他

縣陵百周年記念の併催イベントとして、写真展、ゴルフコンペを計画しています。縣陵百周年記念グッズ制作販売をします。

一緒にゴルフしませんか?

新会員募集中

ゴルフ同好会 アルペン会

年2回名門コースでコンペ有り
一人でも参加できます。

会長 **青柳 善久** (高20回)

連絡先 agatagolf@yahoo.co.jp



株式会社日本M&Aセンター

成長戦略事業部 企画戦略部 参与

福井 順 (高31回卒)

事業承継エキスパート

〒100-0005 千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング24階
TEL.03-5220-5454(代表) 携帯080-3678-2041
e-mail: fukui@nihon-ma.co.jp <http://www.nihon-ma.co.jp>



資産管理・業界情報・事業承継

ライブ・成長戦略・M&A

OWNER

【ザオーナー】



福の会

29 の かい

東京同窓会高29回卒一同



MITSUI HOME

甲信アルプスホーム株式会社

最高顧問 **百瀬方康** (高22回卒)

松本市笹部1-3-6 TEL.0263-28-3131

3年ぶりの縣陵レディース行事

隅田川テラスウォーク&水上バスで浅草～浜離宮

コロナ感染拡大の影響で、2020・2021と縣陵レディース行事が中止となっていました。

2022今年こそは何とか行事の実施をと、4月から会議を重ね、感染状況が今後どうなるか予測できない段階で、どのように行事を行えば良いか企画を検討しました。その結果として、換気状況の悪い室内や飛沫感染の可能性が高くなる飲食などを避けて、屋外での活動及び飲食を含まない内容で行事を実施することにいたしました。

10月22日(土)、参加者36名(男性15名・内役員2、女性18名・内役員5、同伴者3名)で行事を実施いたしました。両国駅に集合して、隅田川テラスを両国から浅草までのウォーキング(隅田川テラスは、水辺の整備が行われ、散策やランニングを楽しめます)、水上バスで浅草から浜離宮までのクルージング(水上バスで直接浜離宮に入園)、浜離宮での散策という内容でした。浅草では、スカイツリー

をバックに記念写真を撮り、水上バスでは、ゆったりとした時間が流れ、普段見れない景色を見ることができました。

参加者は常連・初めての方と色々でしたが、縣陵同窓生の集まりという事で、年齢・性別の枠を超え、話すことができ楽しい時間が過ごせました。腰を据えて話すことは叶いませんでしたが、縣陵同窓生の繋がりはできたのではないかと思います。

3年ぶりコロナ禍での行事でしたが、開催を楽しみにしてくれた方もいて、行事を実施して良かったと思いました。今後は、いろんな世代(特に若い方)の方の参加ができるよう、楽しい企画を検討していきたいと思います。

100周年の記念の年に向け、縣陵レディースも母校の発展に少しでも貢献できることを祈願します。

縣陵レディース委員長 衣袋 めぐみ(高27回卒)



静から動へ ～東京ホームページを通じた縣陵ブランドの再構築～

昨年、縣陵東京同窓会ホームページ管理委員会を立ち上げてから一年が経ちました。隔月で委員会の打ち合わせを行い、内容の拡充と仕様の変更を重ね、少しずつ新しいホームページの輪郭と今後の方向性が見えてきました。活動内容をタイムリーに掲載することに加え、同窓生の声をもっとダイレクトに反映させるとともに、同窓生がこのサイトを見れば縣陵の現在やイベント企画などが一目で分かるような”縣陵おまとめサイト”を目指しています。6月に開催される第56回東京同窓会総会・懇親会、そして9月の母校100周年記念式典に向けて皆様からの情報や記事もお待ちしています。

はまだ かずひろ
濱田 和弘 (高43回卒・HP管理委員長)



バリアフリーと車坐コンサートの宿
信州／松本浅間温泉



〒390-0303 松本市浅間温泉1-28-16
Tel 0263-46-0573 Fax 0263-46-5178

山崎 広太・礼美
(高54回卒) (高57回卒)

高29回卒 横田尚江
高35回卒 木下匡晃

信州松本・大名町のはんこや

有限会社 木下製印社
松本市大手3-3-5(八十二銀行前)
TEL(0263)32-2665
URL http://www.inshop.co.jp
営業時間 AM8:30～PM7:00
定休日 日曜・祭日・土曜の夜

グラフィックデザイン(有)荒木デザイン室
代表 荒木 仁(高23回卒)



tel.042-301-1144 fax.1145 araki@arajin.jp